

恵みと真理のニュース



2017 年 4 月の五次 恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net



【証】

うつ病とパニック障害を治療してくださり、

子供たちを見守ってくださった神様に感謝します

私の性格は気細くて悲観的で子供の時からよく怒ったり深い悲しみに落ち込んだりしました。何もしなくてただ死にたくて泣いたりしました。家庭の経済が貧しくて勉強もできなくて他の家の子供たちを保育する仕事をしました。親と離れて懐かしがって3年間の生活をしてからいアンヤンで働いていた二番目の姉について私もアンヤンに引っ越しました。そして、職場に通いながら夜は習わなかった勉強をしました。会社で共に働いた真面目な女の人が私を熱心に伝道しました。彼女は恵みと真理教会の青年の区域長でした。会社の中で彼女と教会に通う職員と共に賛美をして楽しく働いて互いに美しく交際して愛を分かち合うのがよく見えました。それで私も教会に通いたい心が出来ました。主日に彼女をついて初めて教会に行って何回大きく驚きました。まずは大きい教会を見て驚いて多くの聖徒が集まって恵みある賛美と祈りをするのも驚きました。牧師の説教を聴く時には理由もなく涙が出ました。そのように感動と涙の礼拝を捧げて信仰生活をしました。

その後1991年に結婚しました。二人の娘を産んで育て周りの区域長と聖徒から多く習って、牧師の説教に感動を受けました。私は何よりも私の心細い性格と様々な否定的な面を変えてくださるのを願い祈りました。私を特に可愛がっていた祖母が急に亡くなりました。様々な悲しみと恐れが重なって時間が経つほど症状が酷く日常生活まで大変になりました。私のため十字架に死なれたイエス様を考えて、私が弱い存在であることを告白し神様に勝つ力をくださいと祈りました。後でうつ病とパニック障害の症状が現れ呼吸困難になるまで体は弱くなりました。あちこち病院を探しましたが、すぐ治療される病気ではなかったです。教会で牧師と多くの方が私のため祈ってくれました。". 主よ、あなたがいやしてくださるなら／わたしはいやされます。あなたが救ってくださるなら／わたしは救われます。あなたをこそ、わたしはたたえます。”（エレミヤ書17：14）私ももっと切に主を仰ぎました。そのように祈って神経精神科に行って続けて相談治療を受けながら薬を飲んで状態がよくなりました。とうてい治療不可能に見えましたがどんどん心が安定され頭が明るくて目も明るくなりました。頭がぼやっとしてまるで 蜂の巣をつついたように痛いうえに、ごち

やごちゃしていて息苦しかった頭がまるで雨が降った後、晴れた空のように晴れました。 歳月の間、真っ暗な闇の世界に閉じ込められていた私を助けてくださいました。今は日常生活に難しくなくたまに病院に行って相談だけをして帰ってくるほど健康を回復しました。ハレルヤ！私を憐れんでくださり治療の恵みを与えてくださる神様に感謝と賛美を捧げます。暗くて苦痛だった長いトンネルから主は私を守ってくださってついに明るい光の世界へ導かれたのを深く悟らせてくださいました。長い歳月が苦しんでいた時、神様は恵みと愛で見守ってくださって健康で明るく安定した生活をしています。神様に感謝します。"恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。勢いを与えてあなたを助け／わたしの救いの右の手であなたを支える。”（イザヤ書41：10）この御言葉を強く握って残った人生をただ主の栄光と喜びのため生きます。主の御言葉に従順して主がくださった愛と職分を真面目で忠誠して担えます。



【信仰コラム】

私は聖霊を信じます。（1）

”我は聖霊を信ず”（使徒信条）

使徒信条の”我は聖霊を信ず”というこの簡単明瞭な告白の中には甚だしい真理と恵みが含まれています。神様でおられる聖霊様、聖霊様の属性、聖霊様に対する象徴、聖霊様の知性と感情、意志に関して調べてみましょう。第一は、”聖霊様は神様でおられる”という事実を調べてみます。被造物が創造される前に聖父、聖子、聖霊三位の神様がおられて、三位の神様は同一な考えと思いで協力なさるので誠な意味で三位は一体です。聖父は創造なさい、聖子は救われ、聖霊は聖なるくすることでその役割が著しく現れるがこの全てのことは聖三位神様が共に行われることであります。'三位一体'という単語は聖書で探すことができず、神学的な表現として創案されました。しかし、太陽を太陽と呼ぶ前にも太陽が厳として存在したように三位一体神様に対する教理は聖書の中に啓示されていました。私達は聖書に基づいて聖父、聖子、聖霊三位を神様として、主として信じ、仕えます。第二は、聖霊様の属性に関して調べてみます。聖書には神様の属性が聖霊様に同一にあることを啓示しています。一、全知でおられます。聖霊様は全てのことを知られます。二、全能でおられます。聖霊様の全能は乙女マリアからイエスキリストを産ませることに良く表れています。三、無所不在でおられます。聖

霊様はどこにもおられます。四、永遠でおられます。聖霊様は始めもなく終りもない永遠な方であります。五、真理であります。ヨハネの第一の手紙 5 章 7 節に”そして、聖霊はこのことを証しする方です。聖霊は真理だからです。”と記録されています。第三は、聖霊様を形容する象徴に関して調べてみます。一、風として象徴しました。風が大気を新鮮に替えてくれるように聖霊様は私達の生活と心霊の沈滞を除去して活気を持つようにしてください。二、火として象徴しました。火が燃やしてエネルギーを発生させて物体を運動させるように聖霊様は罪惡な考えを消滅させてくださり、礼拝と奉仕、伝道することを力動的に行うようにしてください。三、水として象徴しました。人の心霊に水が川となって流れ出るようにしてください。四、印として象徴しました。イエスキリストを信じる者に印を押してキリストの所有であることを確証してください。五、油として象徴しました。聖徒達は聖霊様の油注ぎによってキリストの中で堅固になり聖霊様の油注ぎによって神霊なことを分別し、全てのことを正しく把握します。六、剣として象徴しました。聖徒達が聖書のお言葉とそれのお言葉に基盤した教訓を固く捕まえて前進するとそれが聖霊の剣になり勝利の生活を生きるようにしてください。七、鳩として象徴しました。これは聖霊様の柔和で謙遜な品性を表しています。聖霊で充滿ならば柔和で謙遜になります。第四は、聖霊様の知性と感情、意志に関して調べてみます。

聖霊様は物質や非常な力や影響力ではありません。知性と感情と意志を持たれた神様です。一、知性を持たれました。聖霊様は神様の思いを全て知られるのでその思い通りに聖徒のため仲保お祈りしてください。二、感情を持たれました。聖書には聖霊様が感情を持たれたという事実が様々なところに記録されています。'愛' '心配' '嘆息'等は全て感情に関連された用語であり、このような用語は聖霊様が感情を持たれたことを確証してくれます。三、意志を持たれました。コリントの信徒への手紙一 12 章の聖霊の恵みに関する記録で”すべてこれらのものは、一つの同じ御霊の働きであって、御霊は思いのままに、それらを各自に分け与えられるのである。”と記録されています。それ以外にも聖霊様の知性、感情、意志で行われた事事が聖書に多く記録されています。教えられること、証されること、導かれること、言われること、悟らせること、命令なさること、送らせること、呼ばれること、慰められること、求められること等があります。皆さんは、聖霊様が教えてくださらないと知ることができないこの神霊で貴重な知識を持ったことによって常に喜んで感謝し、望みと平安が満ちた中で生活してください。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム『緑の牧場、清い川』本の語り中」



恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

イエス様の復活は私たちの救いに関わった重要なものに対してその皆が真実でまさしく成就することを確証してくれます。確証と言うのは確かな証明で確かな証拠です。証拠とはどんな事実を証明することができる根拠です。証拠は争いを終わらせさせて、真実を明らかにするのに決定的な役目をします。今日はイエスキリストの復活が確証することが何やらよく見ることと神霊な喜びと所望が私たちの心霊にもっと充満するようにします。

第一、イエス様の復活は聖書に記録された予言とイエス様の予告したお話がそのまま成就するというのを確証してくれます。

イエスキリストの復活は予言者を通じて予言されました。詩編にイエスキリストに対して“あなたはわたしを陰府に捨ておかれず、あなたの聖者に墓を見させられないからである。”(詩篇、16:10)と予言されました。イエス様は聖殿を比喻して自分の復活を予言なさった事があります。逾越節にイエス様がエルサレムに上がったが聖殿で牛と羊と鳩を売る人々と両替する人々が座ったことを見ました。イエス様が腰縄で鞭を作って羊や牛をすべて聖殿で出して追ってお金替える人々のお金をこぼして机を伏せました。

ユダヤ人はイエス様のこのような行動に対して敵対感を持って言うのを“あなたがこんな事を行う權威を立証する表徴を何と見えるのか?”しました。イエス様はユダヤ人に“この聖殿を崩しなさい私が三日の間に起こそう”しました。するとユダヤ人が“この聖殿は46年間も造ったが、あなたがこれを三日ぶりに立てるといふのか?”と言いました。イエス様は殺されることと三日ぶりにまた生き返えることを予告したのです。しかしこれを理解することができなかったユダヤ人は反ばくしたし弟子さえこのお話を理解することができなかったです。イエス様が十字架に差し込まれる事ができなくなつて葬られてからまた生き返えた後でそのお話がイエス様の死と復活に対する予言だったのを信じるようになったと記録されています。

イエス様は十字架に釘を打たれる数日の前から彼の弟子に自分がエルサレムに上がって殺されて三日ぶりに生き返えることをおっしゃいました。エルサレムで最後の晩餐後に甘藍山にいらっしゃりながらもおっしゃるのを“そのとき、イエスは弟子たちに言われた、「今夜、あなたがたは皆わたしにつまずくであろう。『わたしは羊飼いを打つ。そして、羊の群れは散らされるであろう』と、書いてあるからである。しかしわたしは、よみがえってから、あなたがたより先にガリラヤへ行くであろう。」”(マタイによる福音書 26:31,32)しました。イエスキリストの死と復活に対して予言者の予言とイエス様のおっしゃったお話はまさしくそのまま成就するということがイエス様の復活に確証されました。

第二、イエス様の復活はイエスキリストを信じる人は罪の赦しを受けて義のあるようになるという事実を確証してくれます。

神様は愛の神様であると同時に公義の神様です。罪人を愛するが罪は憎みます。そして罪人を救いしようとイエスキリストをこの世の中に送られました。イエス様は私たちの罪を担当して十字架に差し込まれる事ができなくなつたんです。しかしイエス様が死亡を勝って復活したから人間の罪が成功的に完全にことわられたことを確証するようになります。安息後の初日の夜明けに突きあたっていてマリアとヨアンナとヤコボのお母さんであるマリアがその準備した香油を持ってイエス様の死骸に塗るために墓に行きました。女性が墓の中に入って行ったがイエス様の死骸は見えなかったです。あの時に輝く服を着た二人が彼らの前に現れました。“どんな理由であなたたちは生きていらっしゃった方を死んだ者の中で探しているのか? その方はここにいらっしゃらないでまた生き返えた。ガリラヤにいらっしゃる時にあなたがたにおっしゃったお話を憶えて見なさい。人子が罪人の手に渡されて十字架に釘を打たれて三日ぶりに復活しなければならないとおっしゃった。”としました。イエス様は果して復活しました。だからイエス様の復活は彼を信じる人のすべての罪が成功的にそして完全に解決されたことを確証するのです。

ローマ人への手紙、4章25節に“主は、わたしたちの罪過のために死に渡され、わたしたちが義とされるために、よみがえらされたのである。”と記録されました。今日の人間を定罪する罪、人間を滅亡受けさせる唯一の罪はただ復活したイエスキリストを信じない罪です。その理由はどんな罪でもイエス様を信じればすべて赦しを受けるからです。“すなわち、自分の口で、イエスは主であると告白し、自分の心で、神が死人の中からイエスをよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われる。”とローマ人への手紙10章9節に記録されました。だからイエス様の復活はイエスキリストを信じる人は罪の赦しを受けて義のあるようになるのを確証してくれます。

第三、イエス様の復活は聖徒が復活されることを確証してくれます。

イエス様は約束するのを“イエスは彼女に言われた、「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たと死んでも生きる。また、生きていて、わたしを信じる者は、いつまでも死なない。あなたはこれを信じるか。」”(ヨハネによる福音書、11:25,26)しました。イエスキリストの復活は彼の約束が質実を確証してくれます。復活には手順があります。“アダムにあつてすべての人が死んでいるのと同じように、キリストにあつてすべての人が生かされるのである。ただ、各自はそれぞれの順序に従わねばならない。最初はキリスト、次に、主の来臨に際してキリストに属する者たち、”(コリント人への第一の手紙15:22,23)と言いました。イエス様の復活は初実としてこれからある聖徒の復活を保証してくれます。

復活した身の形体に対しても知らせてくれています。“死人の復活も、また同様である。朽ちるものでまかれ、朽ちないものによみがえり、卑しいものでまかれ、栄光あるものによみがえり、弱いものでまかれ、強いものによみがえり、肉のからだでまかれ、霊のからだによみがえるのである。肉のからだがあるのだから、霊のからだもあるわけである。”(コリント人への第一の手紙15:42~44)。復活した身は腐らない身、光栄な身、強い身、神霊な身としてイエスキリストの身の形体と一緒に変化された身になるでしょう。復活の時期に対しても明らかにしています。

“ここで、あなたがたに奥義を告げよう。わたしたちすべては、眠り続けるのではない。終りのラッパの響きと共に、またたく間に、一瞬にして変えられる。

イエス様の復活が確証すること

というのは、ラッパが響いて、死人は朽ちない者によみがえらされ、わたしたちは変えられるのである。”(コリント人への第一の手紙15:51,52)。

イエス様が再臨なさる時、墓の中にある者が起きるはずでその後に生きている聖徒もあつという間に忽然と変化するようになるでしょう。復活の所望を持った聖徒の生の姿勢に対してもおっしゃっています。

“兄弟たちよ。眠っている人々については、無知でいてもらいたくない。望みを持たない外の人々のように、あなたがたが悲しむことのないためである。わたしたちが信じているように、イエスが死んで復活されたからには、同様に神はイエスにあつて眠っている人々をも、イエスと一緒に導き出して下さるであろう。”(テサロニケ人への第一の手紙4:13,14)しました。復活を信じる聖徒は死を置いて所望ないこのように悲しまなくなります。

第四、イエス様の復活は聖徒が天国で永遠に生きるのを確証してくれます。

イエス様は私たちの住む所を予備しにいらっしゃると約束しました。

“そして、行って、場所の用意ができたならば、またきて、あなたがたをわたしのところに迎えよう。わたしの所におる所にあなたがたもおらせるためである。”(ヨハネによる福音書14:3)。聖書にはイエスキリストが予備なさった所に関して皆公開しなかったがその所が美しくて燦爛たる所をはっきりと啓示なさいました。

“御使はまた、水晶のように輝いているいのちの水の川をわたしに見せてくれた。この川は、神と小羊との御座から出て、都の大通りの中央を流れている。川の両側にはいのちの木があつて、十二種の実を結び、その実は毎月みのり、その木の葉は諸国民をいやす。のろむべきものは、もはや何ひとつない。神と小羊との御座は都の中にあり、その僕たちは彼を礼拝し、御顔を仰ぎ見るのである。彼らの額には、御名がしるされている。夜は、もはやない。あかりも太陽の光も、いらない。主なる神が彼らを照し、そして、彼らは世々限りなく支配する。”(係22:1~5)しました。

イエス様の復活は天国が実在するということを確認してくれます。その事実をペテロ使徒は次のように記録しました。“ほむべきかな、わたしたちの主イエス・キリストの父なる神。神は、その豊かなあわれみにより、イエス・キリストを死人の中からよみがえらせ、それにより、わたしたちを新たに生れさせて生ける望みをいだかせ、あなたがたのために天にたくわえてある、朽ちず汚れず、しぼむことのない資産を受け継ぐ者として下さったのである。”(ペテロの第一の手紙1:3,4)。

1. 聖書に記録されたすべての予言は真実です。
2. イエスキリストを信じるすべての人が罪の赦しを受けて義のあるようになります。
3. 聖徒はイエス様の再臨の時に皆が復活するようになります。
4. 聖徒は天国で永遠に神様とともに暮すようになります。

何でこれを証明しますか? その証拠が何ですか? という質問に対する私たちの言う言葉は“イエス様が復活しました。”という返事です。聖徒の皆さんはイエスキリストの復活によって確証されたすべてのものを享受して期待にいっぱいになった心で生きて行くように願います。